

## 【 宅配便による試験申請要領 】

(公財)福岡県建設技術情報センターでは、やむを得ない理由により窓口での申請が出来ない場合、当センターの定める試験項目に限り、宅配便による試験の申請を受け付けます。

宅配便による申請は、本申請要領により行って下さい。なお、申請する際には、事前に当センターへ確認の連絡をお願いします。また、申請方法に不備がある場合は試験が実施出来ませんのでご注意ください。

### 1. 宅配便による申請を受け付ける試験項目

- (1) コンクリート・セメントミルク・モルタル・コンクリート (モルタル) コア  
圧縮・曲げ強度試験

※コンクリート圧縮・曲げ強度試験については、**下記に示す1社の配送のみ**受け付けます。

**コンクリートテストサービス(株)** (TEL)092-976-3921

(当センターは試験手数料のみ関与します。その他料金等については、上記会社へ直接お問い合わせ下さい。)

- (2) アスファルト混合物抽出・密度試験

- (3) 鋼材引張試験

### 2. 送付方法

以下の(1)～(3)に示すものをまとめて梱包し、下記送付先までお送り下さい。なお、試験手数料、銀行振込手数料及び宅配料金については申請者の方で負担していただきます。また、配送中における試料の欠損等が生じないように、梱包の際には十分注意して下さい。

#### 【送付先】

〒811-2416  
福岡県糟屋郡篠栗町大字田中315-1  
(公財)福岡県建設技術情報センター 試験研究課 試験係  
(TEL)092-947-2277 (FAX)092-947-2280

#### 【梱包内容】

以下の(1)～(3)に示すものをまとめて梱包して下さい。

- (1) 必要事項を記入・捺印した試験申請書

- (2) 銀行振込受付書のコピー (試験手数料の振込確認のため)

※試験手数料は、下記振込先へ振り込んで下さい。

(試験手数料振込先)・・・振込先をお間違えないようにお願いします。

銀行名	福岡銀行 篠栗支店
預金種別	普通
口座番号	101281
名義人	公益財団法人 福岡県建設技術情報センター


- (3) 必要事項を記入した試験用試料

※コンクリート圧縮強度試験用供試体及びアスファルト混合物抽出・密度試験用供試体については、供試体本体に別途必要事項を記入して下さい。記入にあたっては、次の①～③に示す記入例を参照して下さい。

## ①コンクリート圧縮強度試験用供試体 必要事項記入例

コンクリート圧縮強度試験用供試体については、以下に示す事項を、供試体上面に油性マジック等で記入して下さい。

### 【記入例】

	<p>(記入事項)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①受付番号</li><li>②呼び強度</li><li>③供試体採取月日、試験予定月日</li><li>④試験申請会社名</li></ul> <p>※①受付番号は、宅配業者(コンクリートテストサービス)の方で記入します。 ※②～④は、申請者の方であらかじめ記入しておいて下さい。</p>
---	---

※良好な試験結果を得るために、湿潤状態保持及び欠損のない供試体に限りませす（条件を満たしていない場合は試験を実施できませんのでご注意ください）。


※窓口受付、供試体への受付番号記入及び指定場所への搬入は宅配業者（コンクリートテストサービス）の方で行うようお願いいたします。

※型枠は必ず脱型して下さい。また供試体の載荷面については所要の直角度(90±0.5°)を確保し、整形された状態でお持ち込み下さい。なお、当センターでは硫黄キャッピング(φ5×10)及び研磨仕上げ(φ10×20, φ12.5×25)。(J I S A1132参照)の依頼を承っておりますが、別途手数料が必要となります。

## ②アスファルト混合物抽出・密度試験用供試体 必要事項記入例

アスファルト混合物抽出・密度試験用供試体については、以下に示す事項を、コア側面に記入して下さい（シール等の貼付はご遠慮下さい）。

### 【記入例】

	<p>(記入事項)</p> <p>コア採取位置及び層別</p>
---	---------------------------------

※複数層を同時に申請される場合には、各層毎に分離・清掃し、自然乾燥状態にてお持ち込み下さい。（境界面に乳剤及び路盤材等が付着している場合は、試験結果に影響を及ぼす恐れがありますのでご注意ください。）

### ③鋼材引張試験用供試体 必要事項記入例

鋼材の供試体については、鋼材の呼び名毎に梱包し、以下に示す事項を荷札等に記入して下さい。

#### 【記入例】

<p>① 株〇〇建設 ② 〇〇橋梁工事 ③ SD345 ④ D51 ⑤ 5本</p>	<p>(記入事項) ①申請者名 ②工事名 ③鋼材の種類 ④鋼材の呼び径 ⑤本数</p>
--	---

※鋼材の供試体は、申請者側で所定の長さ成型したものをお持ち込み下さい。なお、供試体の必要長さは、JIS Z 2241、JIS Z 3120のとおりですが、円滑に試験を実施するため、下表寸法での持込みをお願いします。

下表によりがたい場合は、事前にご相談ください。

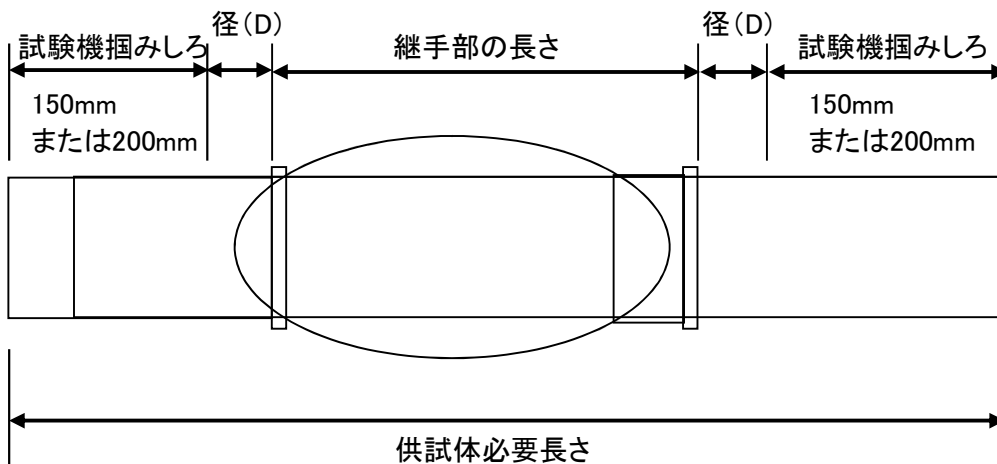
※溶接等で屈曲がある試験片は、試験機の故障の原因となります。屈曲がないものをお持ちください。

※重ね（フレア）溶接されたものについては、試験を行いません。

※掴みしろはD8～38は両端に150mm、D41～51は両端に200mm必要です。

※試験機の構造上、供試体長さの上限は概ね1000mmです。

鋼材の径	供試体必要長さ		
	母材 (mm)	圧接・溶接 (mm)	機械継手 (mm)
D6～D35	600	600	600
D38	700	600	600
D41	800	700	700
D51	900	700	700



#### ④その他

1. 宅配便による申請の場合、受付済みの申請書控えは成績書発行時に同封していますが、事前に必要な場合は、**切手を貼った返信用封筒を同封**していただきますようお願い致します。
2. 試験成績書を申請者以外の住所へ送付する場合、**送付先を記入した別封筒（切手は不要）**を同封していただきますようお願い致します。
3. 宅配便のラベルには、**中身が確認できるように供試体の種類を記入**してください。

※中身が確認できない場合は、受け取りをお断りすることがあります。

記入例：アスファルトコア、鉄筋など

★各試験の詳細は材料試験一覧の申請要領をご覧ください。